

小国高校 ジャーナル

2009.5

www.ygt-oguni-h.ed.jp

短期留学 アメリカ カリフォルニア州

知識と経験を蓄え無事帰国

小国高校では小中高一貫教育で身に付けた国際感覚を具体的に発揮できる機会として2週間のアメリカ留学を実践しています。その事業も今年で6年目になりました。町当局、小国高校同窓会・後援会の全面的な協力のもと今年は、今那月(3-1)・佐野友莉那(3-2)の2名がアメリカ・カリフォルニア州ロサンゼルススのベニス高校で生活を体験してきました。



生徒の感想から

【ホームステイ高校生】

今 那月(3-1)

私は3月14日から28日までロサンゼルスで短期留学をしてきました。ベニス高校の生徒の家にホームステイさせてもらいながら、一緒に学校へ行き、授業に参加させてもらいました。今回の短期留学で一番印象に残っていることはアメリカ人の性格とアメリカの文化についてです。私は学校の友達やホームステイ先の家族と話していて、日本人より積極的で親しみやすい性格だと感じる事が多くありました。携帯のメールの機能をあまり利用しないことや学校の宿題はパソコンのメールの機能を利用する学校がほとんどであるということにも驚きました。日本の方が科学技術が進歩しているはずなのに不思議に思いました。私は短期留学をして、今後この貴重な経験を進路に活かせるようにさらに英語、またアメリカについて勉強したいと思います。

佐野友莉那(3-2)

ホームステイ先の家に入ってからすぐに、自分がこの留学を甘くみていた事に気付きました。私が滞在した家の家族は、両親がスパニッシュ。英語ならまだしも家の中ではスペイン語が飛び交っていました。最初はとても不安でした。これで2週間過ごし切れるかどうかさえ分かりませんでした。それでもジェスチャーを使い何とかコミュニケーションをとっていました。ご飯がおいしかったら、思い切り幸せそうな顔をしたり、お腹いっぱいになったら、更に盛り付けようとする皿を引っ込めたりと、そんな風になっているうちにもうすっかりここでの生活にも慣れていました。

私が向こうでやり残した事といえば、ステファニーに天ぶらの作り方を教えてあげられなかったことぐらいです。もしまた行けたのなら、家族のみんなと一緒にみんなの食べたがっていた天ぶらを食べたいです。

1年生の校歌練習



新応援団長 渡部 陣(3-2) 副団長 伊藤大地(3-1)・渡部裕貴(2-1)の指揮の下、応援練習が行われました。今後、県大会の壮行式や野球応援で披露することになります。

Google™
©2009 Google

Web検索 小国高校

Google 検索

I'm Feeling Lucky

ジャーナルはHPでいち早く配信